

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

祝 同窓会館建設

― 母校の発展に最大の寄与 ―


 阪神支部支部長
薄木昌信
(高校七回生)

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

母校津名高校の新校舎完成に伴い、会員の皆様方に新校舎建設記念事業募金をお願いいたしましたところ、多大の御支援を頂き、いよいよ待望の二階建の同窓会館が建設される運びとなりました。順

調にいきますと平成一八年一月中旬に完成する予定です。御協力、御支援頂いた皆様方に厚くお礼申し上げます。

この同窓会館が完成しますと、同窓会の役員会の会合のみならず、会員の皆様方の会合として利用できるほか、何よりも在校生の文化活動、体育活動の場に資するところが大き

母校愛に感動!!


 同窓会長
小久保正雄
(高校四回生)

正直言うと大変不安がありました。

果たして五千万円という大金が、この不況の最中に集まるだろうか、と。経済状況が悪いか、という理由で、一度は募金の延期を決めたほどでした。

それが、数多くの卒業生の皆さんの熱意と

各地区世話人さん達の献身的な働きかけによって、津名高の同窓会が会館建設のための募金をはじめた、と世間の話題になり始めたのは募金をスタートしてから一年近くたってからでした。

阪神支部の皆さんには大変お世話になりました。

く、同窓会として母校に対し最大の寄与を果すことになり、誠に慶祝の至りであり、同窓会館完成に伴い母校津名高校が益々発展することを期待してやみません。

そして、前号第一〇号の支部報で予告していましたが、本年度の阪神支部の総会は、本部と合同で八月二十七日(日)に津名ハイッツに於いて開催されることに決定いたしました。

会員の皆様方におかれましては、これを機会に是非総会に出席され、合わせて母校のすばらしい新校舎を見学して下さいませうようお願いいたします。

した。心から御礼申し上げます。

募金額はほぼ目標額に達し、只今銀行に大切に保管されています。現在、建築のための確認申請書を提出してあります。

建築認可が下り次第、秋口より、工事が始まるのではないかと、期待しております。

これに合せたかのように、今年の同窓会総会は、八月二十七日、淡路島で開くことが決定していますので、ぜひ多数の会員のご出席を期待しております。

皆さん、重ねて御礼申し上げます。

ご協力ありがとうございます。

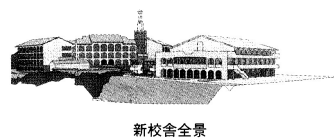

 校
尾崎守

着任あいさつ

同窓会阪神支部会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動に多大なご支援、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

この度、兵庫警察学校(参事兼副校長)から津名高校(校長)に着任いたしました。創立80有余年の歴史と伝統ある名門津名高校で勤務できることは、私にとりましては大変誇りであり、同時に職責の重大さをひしひしと感じております。前任の濱田正晴校長同様よろしくお祈り申し上げます。

津名高校は校舎が新



新校舎全景

第11号

発行所

大阪市北区西天満4-6-3
ヴェール中之島北901号
薄木総合法律事務所内
津名高校同窓会阪神支部
TEL(06)6365-5512
FAX(06)6365-8241

 津名高等学校同窓会
(本部)総会
阪神支部総会・懇親会ご案内

平成18年度の津名高等学校同窓会の本部総会、阪神支部総会、並びに懇親会を下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。

記

1. 日時 平成18年8月27日(日)

(イ) 本部総会

午前10時00分～午前11時00分

(ロ) 阪神支部総会

午前11時00分～午前11時30分

(ハ) 新校舎見学

午前11時30分～午後12時15分

(ニ) ギターマンドリン演奏、懇親会

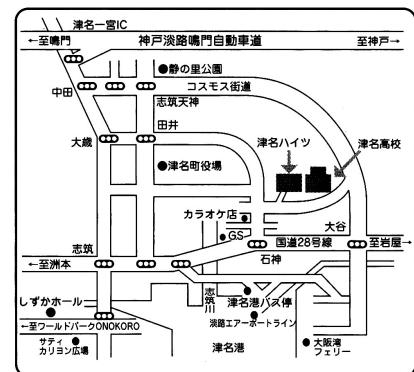
午後12時15分～午後14時30分

2. 場所 津名ハイッツ

TEL.0799(62)1561

3. 会費 10,000円

出席される方は、同封の返信用葉書でご連絡下さい。


 阪神支部会費納入についてのお願い
(年額2,000円、平成18年度分)

阪神支部では、年に1回支部報を発行し、今回で第11号目の支部報を発行しました。この発行に際しましては、全会員に対する郵送料を含め1回につき約900,000円の費用が必要です。ところが、会員の皆さん方から納入して頂いております年会費の総合計額は、平成17年度で金530,900円です。つまり、約370,000円不足しております。(阪神支部の会員数は約4,800名のところ、平成17年度は5パーセントに相当する264名の方のみ支払われています。)

そのため、支部報を発行する度に数名の方から賛助広告を頂いて何とか発行にこぎつけているのが現状で、このままでは今後年に1回発行していくことが極めて厳しい状況です。

しかし、会員の皆さん方に母校の現状をお知らせし、母校と会員の連絡を保つためにはこの支部報が唯一の手段ですので、何としてもこの支部報の発行は今後とも続けて行きたいと考えています。

つきましては、1年間に1回2,000円の会費ですので、1人でも多くの阪神支部の会員の皆さん方におかれまして支払って下さいますよう、伏してお願い申し上げます。本支部報に同封しております「払込取扱票」又は銀行振込により納入して下さいませう重ねてお願いします。

◎郵便振替口座

口座番号 00980-7-184478

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

◎銀行振込ご利用の場合

銀行支店名 三井住友銀行西宮支店

口座番号 普通預金 8091354

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

津名高等学校同窓会阪神支部 収支決算書(案)

自 平成16年 8月21日
至 平成18年 6月30日

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	金 額	備 考	金 額
前期繰越金	1,756,927	普通預金(三井住友銀行西宮支店)	626,866
		郵便振替口座	1,118,204
		手持現金	11,857
助 成 金	240,000	本部より16年度助成金	
助 成 金	200,000	本部より総会助成金(東急イン)	
助 成 金	150,000	本部よりコンサート助成金	
会 費	310,000	本部総会出席者(31名)	
会 費	770,000	支部総会出席者(77名)	
祝 金	60,000	総会お祝金(8名)	
会 費	170,000	16年度会費(79名)	
賛助広告費	520,000	17年度第10号(60名)	
会 費	525,000	17年度会費(241名)	
助 成 金	300,000	本部より18年度助成金	
賛助広告費	497,000	18年度第11号(63名)	
利 息	14	三井住友銀行西宮支店	
合 計	5,498,941		

収 出 の 部			
科 目	金 額	備 考	金 額
総 会 費	752,025	16年度東急イン(三宮)	
総 会 費	282,000	16年度アトラクション	
総 会 費	15,050	総会用名札、ハガキ代(案内用)	
預 り 金	15,000	本部新校舎寄付金	
印 刷 費	5,100	郵便振替用紙5,000枚	
会 議 費	38,100	役員会会場使用料(14回分)	
寄 付 金	100,000	マンドリンクラブへ	
雑 費	10,996	役員会のお茶、菓子代	
印 刷 費	36,919	タックラベル(新聞10号宛名書)	
印 刷 費	825,587	第10号同窓会報(5300部)	
雑 費	31,330	吹田市内(69名)発送費	
小 計	2,112,107		
次期繰越金	3,386,834	普通預金(三井住友銀行西宮支店)	1,790,986
		郵便振替口座	1,587,467
		手持現金	8,381
合 計	5,498,941		

会計監査報告
会計監査の結果、諸帳簿ならびに証拠書類、通帳などは適正に処理されていることを確認しました。

平成18年6月30日 会計監査委員 花野正悦
山本和寛

平成18年・19年度兵庫県立津名高等学校
同窓会阪神支部役員(案)

氏 名		氏 名	
顧 問	高校3 筆谷正也	監 事	高校7 木村多津子
	高校5 立花和也		7 北小路和子
	高校6 本田卓希		7 片岡昭子
支 部 長	高校7 薄木昌信	副支部長	8 平松忠
副支部長	高校7 宮岡郁雄		8 後藤拓代
	高校9 沖正典		9 平岡英忠
	高校10 柴生進	会 計	9 桃井美智子
	高校10 村上昇		9 上雅子
	高校12 岩井吉人		10 道下賀子
会 計	高校13 小久保澄夫	会計監事	11 浜野長丈
	高校13 田中種義		11 山崎義雄
	高校14 近藤甲一		13 五熊詔一
監 事	高校27 藤木啓彰	監 事	13 北野佳代子
	高校7 筆谷幸子		13 石上勝美
	高校19 花野正悦	監 事	14 南正光
監 事	高校19 山本和寛		14 桑名賀代子
	高校1 日野恵美子		15 門康彦
	2 越智信子	監 事	15 中野淑郎
	3 小山好子		15 北川映子
	3 森口文彦		15 上田佐代子
監 事	4 中須賀允彦	監 事	15 砂川文孝
	4 矢野靖		15 片平雅文
	4 石戸泰子	監 事	16 東田雅俊
	4 中村貞子		16 山本敏子
	5 江本嘉代子		17 中田晴繁
監 事	5 河合春子	監 事	18 柳谷承示
	6 坂東章好		18 杉岡実季子
	6 太田均	監 事	18 森章次
監 事	6 坂東洋治		19 田井地力
	6 郡益彦		19 高田穂
	6 保宗幸夫	監 事	20 今岡ひとみ
	6 尾崎田鶴子		20 村上正雄
	6 森多貴美子	監 事	21 木下弘子
監 事	6 石原富子		21 橋口芳子
	6 古土井和佳子		21 辻野由里子
	7 中谷博文	監 事	23 奥田正博
監 事	7 明角清重		23 池田幸三
	7 矢野端		27 藤森泰宏
	7 南光三雄	監 事	35 青木聖久
	7 橋形月代		

(以上 79名 平成18年6月30日現在)
平成18年8月27日開催の阪神支部総会にて選出決議の予定)

平成17年度津名高校同窓会阪神支部会務報告(案)

阪神支部 支部長 薄木 昌信

開催日	名 称	内 容
17・4・23	役員会	新校舎移転に伴う寄付金募集
17・4・23	編集委員会	支部報第10号第1回委員会
17・5・28	同 上	同 第2回
17・6・25	同 上	同 第3回
17・7・16	同 上	同 第4回
17・7・27	幹事会(本部)	記念事業基金の募集、同窓会館建設等
17・7・30	編集委員会	支部報第10号第5回委員会
17・8・10	同 上	支部報第10号発行
17・10・14	第1回建築委員会(本部)	同窓会館建設について
17・11・2	第2回建築委員会(本部)	同 上
17・11・19	式 典(本部)	新校舎完成記念式典
17・11・20	津名風の会(本部)	ゴルフ(淡路カントリー)
17・12・7	第3回建築委員会(本部)	同窓会館建設について
17・12・20	第4回建築委員会(本部)	同 上
18・2・5	幹事会(本部)	同窓市議と幹事会との懇談会
18・2・18	阪神支部役員会	新校舎建設事業募金と同窓会館建設について等
18・3・8	第5回建築委員会(本部)	同窓会館建築設計図について
18・3・11	第1回編集委員会	支部報第11号発行の件
18・4・29	第2回編集委員会	同 上
18・5・27	第3回編集委員会	同 上
18・6・10	理事会(本部)	本部と支部の総会開催の件
18・6・17	第4回編集委員会	支部報第11号発行の件
18・6・27	第5回編集委員会	同 上

新校舎建設記念事業募金

第三次募集ご支援のお願い

新校舎建設に伴う同窓会館建設等の諸費用捻出のため、同窓会会員の皆さん方に募金をお願いしていましたが、平成18年3月31日現在において、合計約34,000,000円の募金がありました。衷心より厚くお礼申し上げます。

ところで、当初の目標額は金50,000,000円でしたので、約16,000,000円不足が生じており、現状では平成18年8月頃に同窓会館建設に着手し、会館建設は可能となりましたが各種什器、備品、並びに体育活動、文化活動の諸器具、諸機器等の購入資金が不足しています。

そこで、平成18年6月10日に開催された同窓会本部の理事会において、更に第三次募集をさせて頂くことに決定しました。前回までに募金されていない会員のみならず、既に募金された会員の皆さん方にも重ねてお願い申し上げます。

なお、ご寄付頂く金額は前回と同様一口5,000円で期限は平成18年12月30日(土)までとさせていただきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

平成18年7月1日

津 名 高 等 学 校 同 窓 会 会 長 小久保正雄

新校舎建設事業実行委員会 委員長 三津 啓祐

阪 神 支 部 支部長 薄木 昌信

『ロハスとニート』
が混在する時代？

矢野靖

(高校四回生)

このところ、ロハスという言葉が世間を飛び交っている。生活スustainabilityの略。直訳可能な生活態度。健康的で持続可能な生活態度。具体的には、自分の体と心の健康や自然環境を大切にすることを意識して行動すること。米国社会学者ポール・レイと心理学者のシェリー・アンダーソンが提唱した造語。

ニート(NEET: Not in Education, Employment or Training) 略。言。言葉の発祥地は、ギリシヤ。業の発祥地は、ギリシヤ。教育を受けていない、雇用されていないまま職業訓練を受けていない若者を指す。内閣府の研究では、二〇〇五年三月月現在で、日本のニート人口は推定85万人と発表されている。

ジャーナリストの蟹田誠一さんは、最近の

いわゆる「ロハス現象」には食傷気味である。ファッションのひとつとして扱われている面が少なくないという。ロハスという言葉が、まず先にあり、自然に優しく接したいのが、流行の生活スタイルと解釈されている。日本独特のラベルリングをする社会。本来の意味からはずれたもので、レフトルを張って一緒にしてフリーターしかりです。そして、そのラベリングに満足してしまいうまで現れる。自らをロハス志向と自負する人々が、ロハスという生活スタイルを本當に求めているのか。その先には、どういう社会があるかと思っている。今そこ立ち止まって考える必要があるでしょう。ロハスが時流に乗って登場してしまっただけで、言葉であることは間違いない。人々が量より質の生活を求め始めた中で、蟹瀬さんはロハスに含まれる持続可能性に「sustainability」と耳を注目する。こはいいいが、何をよのレベルで維持しようとしているのか。そもそも私たちがロハスと言ったとき、先進国の人間のことしか頭にないではないか。たとえば、今の日本人の死活スタイルは、どう考えても維持可能なものではない。24時間コン

事なところでしょう。一方のニートについて、蟹瀬さんは見方は厳しい。そもそもニートとは階級社会の萎縮した時代のサツマイ政権時の緊急財政の中、教育も受けられずに追いつけなかった若者を指す。だからブレア政権下では、そうした若者たちにウェンセラーを付け、ニートの数を減らす政策を施していた。明らかに、教育を受けたが仕事をしなかった日本人のニートとは異なる。「概して、日本のニートはナマケモノで。彼らを許す甘い面がある。親類にしろ、子離れもしていない。仕事とは何んなのかを、明確に教えられる大人もなくなってきた。趣味を生かしたい。仕事をしたい。本来、仕事は楽しくないもの。だから頑張った分として報酬を得られるわけですね。もちろん、ニートが急増している背景にはセカドチャが与えられたなど、労働市場に融通がない日本社会の構造的な陥があるでしょう。それにしても、ナマケモノのニートで、これ以上、増やしてはいけません」大さな流れとしては今後、どういふ形であれロハスの生き方があるかが増えるだろう。ただ個人で実践するは限界があり、地域、政府、さらに地球を視野に入れなければ自己満足に終わってしまう。ロハスの先にある社会とは、どうものなのか。「現実的には北欧

が金銭でしかないから。人が本当に求めているのは金なのか、違うと思う。ありきたりだが、人々が求めているのは、幸せでしよう。金イコール幸せではない。現に不幸せな金持ちはいくらでもいます。一方お金はなくても幸福感到に満ちる人がいます。ロハスがヨーロッパの成熟した社会を生むキッカケになれば、願っています。」

2006年3月 吉日
マンスリーみつびより
抜粋



ありがとう

上田 知佐子

(高校四回生)

の絵が好きだと言った大抵、え、という顔を理解を示してくれる人にもいる(「変わりてきましたね」)、はつきり口々にする向きもある。

印象派のセザンヌやゴッホ、ルノアール等のファンの多い中で、無論こちらも否定しきれない。象徴派の特にイギリスや神話や旧約聖書に題材を採ったモローの作品に傾倒するのは確かに変わり種といえるかもしれない。

皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。今度も原稿依頼を受けてまたこので寄稿させて頂きませう。

昨年早春には、韓国・北朝鮮の民族協定が成立し、北朝鮮の民族分断店の現場を歴訪してみた。北朝鮮38度線の南北朝鮮戦の戦況がはじまり、冷戦の結果、ユーラシア大陸の東端で朝鮮半島と38度線を国境とする民族分断がなされ、

板門店歷訪雜感

本田卓禾

(高校六回生)

たのは、四十数年前敷の大原美術館でだった。堀尾雄の階席に触発されて、エル・グレコの「受胎告知」を自分の眼で確かめなくてはるばる訪ねたのだが、無論その絵は期待を裏切らなかったが、それ以上にモロッアの『雅歌』と題された小品の羅刹をまとったオリエンタリズムの妖しく美しい女流性の姿に心を吸い寄せられてしまった。(紫の幻想)と呟いて、私は溜息をついた。

○●●●●●

歴訪雑感

本 田 卓 禾
(高校六回生)

陸の西端ではドイツのベルリンの壁によって民族分断が行われた。
ベルリンの壁の崩壊(一九八九年直後に訪ねたベリンは、トロイカを冠した美しい世界的名門ブランドンブルグ門を中心として、大都ベリンを文字どおり二分し壊跡近くに大聖堂、博物館、美術館が多く存在していて驚いたことであつた。

ソウルは、現在では、東京都に相当する人口をもち、股腰を挟むているので、ソウルから車で約1時間半の近郊にある板门店も華やいているもの

打のめした。

「残された二人だけ
の姉妹だ。二十十
歳以上の若者の彼女に
思ひ立てなかっただけ
に、二重の悲嘆が私を
打のめした。」

人間に会うのも厭、世
間の騒ぎの事象にも興
が湧かず、自らの間に
閉じ籠もって来たが、
ふと京町界立美術館で
ギンスタウ・モロー
展が開催されているこ
とを新聞の美術欄で知
った。何か、縋りつき
ていような懐かしさを
覚

と想像していたのであ
ったが、板門店38度線
戦協の現場は荒野の中
にあつたのも驚いた。

南北朝鮮民族分断の現
場、板門店の風景を点
す。

「北、荒野の手に入ら
ない、荒野の高さのボ
ールに赤、北朝鮮の
国旗なかりに白く
びかせ、南方をふか
なげけとばかりに白
い韓国旗が掲げられ
て、さながら平安代
末の源平合戦を彷彿
とさせる。民族分断
せしめられたのは、
身分の現存付近は、
家が全くなく、文
字、北朝鮮の荒野
であった。南

板門店の休戦協定場に
木造の屋に一定した。
存在するのは、韓国、
北朝鮮のそれぞれの
建物各一棟と小さな
建物、建物数棟、小
の建物とその付属小
な建物数棟とであ
る。休戦協定の建物
の一部では、国連
の兵士と北朝鮮の

市立美術館に出掛けた。再会したモロ一の作品達は、貴婦人も一角獣も仄かな灯りも黄蜂の羽の空も、変わらないう透明な優しさや憂いを湛えて私に迎えてくれた。私は、故郷に辿りついた旅人の心地しなやかさで、胸が熱くなり、涙が静かに頬を伝った。期待が、一死せんとする詩人を連ねケンタウロスや、「旅の天使」の「夕べと苦しみ」などの作品はなかったが、私は満ちた。

兵士が休戦協定建策を拒否して、数十メートルの至距離で対峙し合った。他は大自然の野で、野鳥も多量に空を舞を舞っていた。

この二つで南北朝鮮民衆を品評していた。

断の歴史を回顧すれば、南北朝鮮半島は、古来中国、モンゴル、タタール、満州、日本等により植民地支配を受けて続いていた。第二次世界大戦終結時は日本による植民地支配を受けた。カザフ人宣言等に基づき、第二次世界大戦後は米ソ両国が占領を続けたが、一九五〇年に北朝鮮は、米の植民地半島の排斥を求めて、武力攻撃を始めた。一九五三年二月二二日の朝鮮動乱が、続いた。この間に韓国民、北朝鮮民とも百万人以上の死者を出し、半数の民衆が戦で焼失した。北朝鮮は、連日武器を提供し、軍

画の一点、点に深い想いをこめてちびつてお楽しみであらう。

おねえちゃん、わたたの子供が成人し、以来お能の会、映画や美術展に連れだつてよく行ったものだつた。その面影がずっと私に寄り添つて一緒にローの鈴を鑑賞したように。

その日のように。

事指導を行い、韓国には北朝鮮は、米國を中心とした國連が自由主義(資本主義)の擁護を名目とし、韓国に駐しては、兵力で北朝鮮を攻撃、北朝鮮は、韓国に送り込み、沖縄、B29による総攻撃、戦後戦を繰返した。南北朝鮮民族の目的とした植民地支配からの解放のためには、あまりにも犠牲が大き過ぎ、民族解放の戦いを実現できないまま、北朝鮮鮮明(申)出によって一九五三年に板門店休戦協定が成立し、爾來半世紀経たぬの、民族解放の戦い上の軍事を聞いているのである。

板門店 38度線問題は南北朝鮮民族の植民地地配からの解放という人々の根源に基づき、米國獨断で、自由の擁護を大々にしているが、旧宗主が崩壊して東ヨーロッパの民権が進んだが、板門店問題の解決はまた南北朝鮮民族の考えに思われる。

板門店の南北朝鮮民族がすばらしい現場がある。

出た。(三)拝云、妹の
 幻がすし笑った。
 そして、この言葉は
 近年殆ど会うことも
 ないに、私のモノ好
 きを憶えていてくれ
 たT氏にも捧げなげ
 られたと思った。
 ありがと。(三)拝云――
 雨の午後しのびと
 暗い美術館の中で、
 ローの作品世界の照
 する薄紫の光に包ま
 れて、ひととき私は
 静謐な喜びに浸っ
 いた。



じめた夕暮のうちに、
 美しい朝鮮キジが人
 間のかな行為に、「ケ
 ンケン、嫌、嫌」と
 羽音高く飛び立つて
 行



エジプト雑感

南光三雄
(高校七回生)

開空を飛び立ち14時

間。エジプトはルクソール空港に降りた。その夜

だった。翌朝初めてナイル川のとうとうと流

れる様に感慨一入だ。

ナイル川河畔のカルナック神殿、ルクソール神

殿を見学。神殿の巨大な石の列柱が所狭しと

並び、柱・壁に象形文字が一面に刻まれている。今から4000

5000年前に、こんな大きな石をどうして切り出し、運び、積み重ね、彫刻したのか

創造を絶する思いである。中でも一際高いオベリスクは一体の石で

作られているのには驚かされる。

ラムセス何世が権力を振るって、どうしたかは歴史に疎い自分にはよく分らないが建築

技術の高さ、労力の偉大さには感服する。

荒涼とした草木の無い石の王家の谷は歴代の王が眠っている所。墓の多くは盗掘に合

見の影も無いが、有名なツタンカーメンの墓は他の王の墓の建設の捨てた土砂で口を塞が

てしまった為に、盗掘を免れた。その後、無傷で発見された為、埋蔵品も完璧な形で発掘されたと言った。今は、

埋蔵品の全てがエジプト考古学博物館で展示されている。金箔の4重の厨子・3重の棺・黄金の仮面・装飾品・生活の器具などを目的に作られているのには驚かされる。

中央の巾広い階段の上に、シンメトリカルに広がる列柱をなす荘厳なハトシェプスト女王神殿の奥の自分の像の

錨を上げて

沖正典
(高校九回生)

動いた。離岸の瞬間である。神戸港中突堤から、今までの出航し

ようとするクルーズ船「ザ・ワールド」。船籍はバハマ。総トン数、四万三千トン余、全長一九六メートルの世界初のマシオンシップである。神戸は初入港で、神戸市消防音楽隊の力強い情熱のこもった行進曲「錨を上げて」の歓送演奏の中、静かにゆっくりと岸壁を離れて行く。何と夢の様な感動、別れ行く切なさ胸を刺す。数曲の行進曲の演奏の後、曲は「螢の光」と

変る。客船が、曳かれていたタグボートから離れて船首を沖へ向け、自力での航行が始り、徐々に船影が小さくなって行く。次の寄港地への航海の無事をたひたす折るばかりである。この中突堤は、もう五十年も前、修学旅行で、関東への旅立ちの初日、船中泊した誠に懐しく、想い出深い波止場でもある。この中突堤からは、昨年六月、航海訓練所の帆船「日本丸」を、今年に入って同じく「海王丸」、初入港の「飛鳥丸」を見送ったばかりである。これらの出航時、ドラが鳴らされ、古い伝統と歴史を感じさせられて、何とも感慨無量である。歓送演奏が、神戸市消防音楽隊によって行なわれた事は言うまでもなく、毎回、船影の小さくなるまで見送り、航海の安全無事を祈念する事も例外ではない。

感動出来る事、又人に感動を与えられる事は、なお素晴らしい事には違いないが、先ず人に感動を与えられる心を持っていてこそ、自ら感動出来るのであると、実感している。さて、昨年三月の下旬の事である。夢にまで見た念願の進水式の見学を体験した。

和田町の三笠造船所での式典で、当日小雨が降り止まず、傘々、

顔に太陽の光が数分間当るようになった。まさに太陽の子・神の子を演出した神威だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

に気付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

カタリナ半島のセントカタリナ町の町へは延々と砂漠の中450km、途中中ベトウイン村で休息したりで夕刻到着。疲れた。

翌朝、モーゼが十戒を授けたと言ったシナイ山(2280m)へ暗闇の中、午前2時から、約4万個に切り出し、60m以上に引き上げ復元したそうだ。ラムセスII世の権力を誇示する神殿でありスケールが大きい。10月、2月に神殿の奥の自分の像の

かに付いた時はガクンと来た。モーゼの十戒の刻石も無く、大きな落胆の時だった。

ギザ地区のピラミッドで同乗している上に、白バイに先導されサイレンを鳴らして、他の自動車より優先された。進むのには驚かされた。エジプトの主要産業は電力・観光・スエズ運河の通行料・エジプト棉花である。

日本行政書士会連合会相談役
(社)大阪淡友会理事
西宮・スポークン姉妹都市協会副会長筆谷正
(高三回生)事務所
〒602-0857 西宮市中前田町一丁目二五
TEL 〇七九八-二二四七二六

サハラ砂漠を280km、1泊して、4駆車で移動。1500km先の黒砂漠は黒色の玄武岩の山。砂が適度に吹き飛ばされて、当たりが黒く見える山と平原だ。これ以外に何も無い。更に車を飛ばして白砂漠へ。縦横百数十kmに及び、風に侵食された、石灰岩の奇岩のモニュメントが林立する白の世界に目を見張った。

中国シルクロードの壁面・仏像・石像などの顔・目などが壊されているのが多かったが、ここエジプトでも多い。

イスラムの偶像崇拝を禁じた教義とは言え、ナイル川沿い以外は砂漠しかないこの地で、こんな文明があることには不思議な国だった。

出航式と進水式の光景から学べる様に、自分が見たいものは、他人も見たいであろうから、席をゆずり合い、傘をたみ、共に感動を分かち合おうという姿。

人々を思い遣る、人を労る、そして感謝と感動を胸に、より心の豊さを求める事は、幸せを希求する原点である様に思えてならない。

錨を上げる事は、目的を持ち、如何なる苦難があろうとも、それを乗り越えて、実行実現する、そして感動を得る最も重要な作業の一つである。

日々、心身の疲れを感じている時、この「錨を上げて」のテープを聞いている。思わず元気が出てくる。不思議な味わいなければならない。

宮城県印刷工業組合 理事
白石商工会議所常議員 一般部長
本木印刷株式会社
柴谷 栄一
(高七回生)神戸アチャコ歌謡連盟本部理事 歌謡ステージ「心内」
宮岡 郁雄
(高七回生)事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇七八五-七七一〇九
TEL 〇七八五-七七一〇九尾崎 田鶴子
(高六回生)〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇南光三雄
(高七回生)〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇坂東洋治
(高六回生)〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇津名高校同窓会 阪神支部顧問
弁護士 本田卓禾
(高六回生)事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇板東 裕二
筆谷 幸子
橋本 月代
山本 祐三
中村 泰
中原 堅
元山 紀
岩木 邦安
安田 延子
松島 延子
熊岡 秀也
正本 君子
山本 守
薮田 和子
山添 輝久
高僧 隆明
蔵本 裕子
来田 澄子
吉田 玲子
西岡としゑ北小路和子
木村多津子
矢野 端
植野 保子
今田 博之
青木 良正
角南 忠良
奥田 泰久
吾妻 和美
森 加代子
平川 義彦
片岡 昭子
岩田富美子
塩谷美子
明角 清重
植木 順二
栗田 雅文
国重香代子
北中八重子
(順不同)事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇薄木総合法律事務所
弁護士 薄木昌信
(高七回生)弁護士 薄木英二郎
弁護士 薄木史事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇事務所
〒650-0077 神戸市兵庫区羽板通四丁目二七
TEL 〇六六三-八八九一四〇七〇

生家の改築



淡路市長
門 康彦
(高校十五回生)

「縁」という恐らく日本人にしか分からない言葉が有ります。平成17年初代淡路市長として、母校・県立津名高等学校の新校舎竣工式に、番匠ヶ丘の校舎で立ち会い、その時式辞を述べた県教育長は、県財政課当時の同僚でした。これも一つの「縁」です。

淡路市立として第一回目の卒業式は、中学校5校、小学校24校全てに市からお祝いに行かせていただくことにし、私は、津名中学校と志筑小学校へ行かせていただきました。

私は、志筑小学校卒業、志筑中学校入学卒業、津名中学校志筑分校卒業、いわゆる、津名中第一期卒業生です。半世紀近くの後輩達に「淡路島の将来を宜しく」と言うメッセージを贈りました。私達の時代より、人数が半減もしくは三分の一程になった後輩達の内、例えば一人でも壇上で話す私のその言葉を記憶の片隅に持っているという事を祈りながら語りました。同じ第一期卒業生として。

今、淡路島初めての4年制大学看護医療大学が建っている付近は、私の幼い頃は、全て田んぼで私の生家だけが在りました。今は、ちょっとした田舎の市街地に姿を変えています。

70年以上も前に、父の建てた家は今風の建築モードも出たので、友人達と相談のうえ、改築する事にしました。イメージは「心は少年」山口県萩に現在でも松村下村跡地があり、幕末の動乱の時代、時代を駆け抜けた一人の青年が居た。志半ばでこの世を去ったが、彼の魂は明治維新を成し遂げた多くの青年達に受け継がれた」と有りまま。

私もその様な志の万分之一でもと思い、今、ささやかながらメッセージを発信し続けています。「淡路島三市時代の混乱の時、友人達と取って火中の栗を拾う。他市とせめて肩を並べ、為に、不利な戦いを選択せざるを得ない。10年20年の時間を経ての評価となるだろう。我々の世代では、時間が必要で、淡路市後継者育成塾として、生家に塾の拠点を建設する事にしました。仮称「門下市塾」。

このような大上段に構えてみたものの、今、改めて公的責任者として、引継ぎの責任が重くのしかかっている。皆で作る我々の新しい淡路の家、明日への熱い思いを改築する生家に託します。

とにかく、市長選挙をこの地に在って、市民型のボランティア選挙を貫いた事は、今でも語り草になっています。「なるのが目的ではなく、なつてからどうするかを考える」を、「今まで何をしたかではなく、これから何が出来るかである」と同じように

『古布』に生きる

小久保 幸子
(高校十三回生)

津名高校を卒業して45年、還暦を過ぎてからは一層一年が早く過ぎていくように思われます。毎年春が来ると主人と二人で「私達はあと何回桜の花を見る事が出来るのか」と亡くなった友人や知人の思い出を語り合う。そんな歳になりました。

20年間専業主婦だった私は、45歳の時に、かねてから望んでいたアパレルメーカーに勤めようとした。気が付くとあつとという間に10年余りが過ぎ、退職を迎え、再び自由な時間を手に入れた私は、今、古布アート」と称した海外向けのクリスマスカードやタペストリー、インテリア製品等を作っています。

若い頃、海外に長期滞在していた時から抱いていた「日本の古い文化や伝統を海外の友人達にも伝えたい」という思いが、海外向け

のクリスマスカードを作った。古布で作った花や動物のイラスト、イギリスへ勉強に行つた友人からの「あなたのカードをパリスのギャラリーに置いてみたい」との依頼。来年のクリスマスに、古布アート」を出品しようとした。

「古布アート」は家の中の製作なので、どのような言い訳も許されない会社組織と異なる。古布アート」は家の中の製作なので、どのような言い訳も許されない会社組織と異なる。

川の流れに

南 正光
(高校十四回生)

天からの怒りを叩きつけるかのように、地上30メートルの高さから落下する怒涛の流水は激しいエメラルドグリーンに映える滝壺に止めどなく轟音と共に降り注いでいた。滝壺から跳ね上がる水しぶきに小さな美しい虹が浮かんでいった。

ここは、江戸時代の朱子学者である頼山陽

や細菌研究で有名な医学博士の野口英世が訪れたこともある箕面国定公園内の有名な箕面大滝(大阪府箕面市)である。

大滝からの川の流れは、大小さまざまな岩にぶつかり、時には激しく、時には緩やかとなり川下へと蛇行していった。

川面は、まるで鏡の



古布アート

り、今日間に合わないけれど、明日に延ばしたり、予定も変更したり、自由に出ることも、ストレスを感じることなく、作るたびに次々と新しいアイデアが浮かび、作り出すと止まらないほど、充実した製作時間を持つ喜びを感じています。

昨年は大阪や京都で「古布アート作品展」を開き、多数の方に見ていただきました。来年には、毎年注文を受けている「やっつみ」のクリスマスカード展。と決心し、60歳からの古布デビューとなりました。

「古布アート」は家の中の製作なので、どのような言い訳も許されない会社組織と異なる。古布アート」は家の中の製作なので、どのような言い訳も許されない会社組織と異なる。

と送ってくださいます。美しくまだ着られるような物は勿体無くても、かならず入れられます。本当にボロのような状態の物(江戸、明治、大正、戦前のもので破れたり染みになったり、継ぎ接ぎしてある物)が味のあるよい作品となるのですが、それらは捨てられる運命にあるように、なかなか手に入りません。今では、そういう古い時代のものを求めて毎月あつちこつちの骨董市に主人と行くのも楽しいもの一つとなりました。

着物や帯の他、江戸ちりめんの端布、刀の袋、古い信玄袋、羽織の裏、藍染め布、袴、袷袢など「ボロのお宝」に巡り会った時はとても本当に興奮してしまいます。

買ってきた「ボロのお宝」はまず丁寧に鉄でほどき、これは目の良い主人が手伝ってくれるのですが、時代の古い物だと埃やカビの臭いが強いので「僕はいつきつと」「古布園」にやられるよ」と悲鳴をあげています。

川岸の緩やかな流れの中に沢蟹を見つけた。いたずら心が芽生え、その沢蟹をヒョイとつまみあげたが、つかみ所が悪く小さな足に指を挟まれた。その痛みに沢蟹を川に落としました。

沢蟹は、私を嘲笑うかのように小さなあぶくを吐きながら川底に喜んで逃げた。

「ゆく川の流れば絶えず、しかも、もとの水にあらず。涙みに浮かぶうたがたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例なし。世の中にある、人と住み処と、またかく

そして、洗える物はきれいに洗って日光消毒し、アイロンをかけ、一枚ずつ丁寧に袋に入れて柳行李に納めて作品を作っていきます。

ほどいた古い帯の中に旧紙幣が縫い付けられていた。芯として使ったかと思われる藍染のバツチアブリのような味の、ある布が出てきたり、昔の人々の「物を大切に」に改めた知恵と心意気。しかた一つの問題は、この増え続ける古布の山に突然とる娘の「お母さん、このボロ布を残していいの？」との訴え。限り古布をお宝にするから」と答えているのですが、...

今、私にとってこんな楽しいことはありません。古布に出会って、これからの人生が少しは心豊かに過ごせるのではと思う今日この頃です。

どうぞ同窓の皆様、益々の御健康とご多幸をお祈り致しております。

のこし。..後略

これは、鎌倉時代に書かれた日本三大随筆の一つでもある鴨長明による「方丈記」の冒頭の一節である。

この意味は、世の中は常に川の流れるの如く新しく生まれ変わるために一つの場所での安定は、本当の安定ではなく、変動や新しい事を吸収して得た安定こそが本当の安定であるということである。

人は、誰しもがあらゆるものに対して安定を求めたが、時代の変化に対応した本当の安定を見極める必要がある。

村上昇
(高十回生)

柴生進
(高十回生)

中野淑郎
(高十五回生)

岩井吉人
(高十二回生)

株式会社 田中不動産
代表取締役 田中 種義
(高十三回生)

小久保 幸子
(高十三回生有志)

真珠輸出卸
小久保 澄夫
(高十三回生)

南 正光
(高十四回生)

淡路市長
門 康彦
(高十五回生)

〒659-2331 淡路市志筑一四三八一
電話 (〇七九七) 六二一五一一
FAX (〇七九七) 六四二二五〇〇

の、スタート5人の身長が166cm、166cmと全国大会をめざすにはもの足りないものとした。身長の高いチームが長身選手を多く持つ私学相手に戦うには、その身長差を克服するために「走力」「速いパス回し」「確の高いシュート力」が当然のことながら要求されます。そのため練習は時間内内容もかなりハードです。

田安暢くんが1年生で、
国体で優勝した3000
mで優勝、男子ソフト
テニス部が個人・団体
でインターハイ・近畿
大会に出場するなど、
他にほとんどの部が
大会にあふれていま
に満ちあふれていま
強く、学校全体が活気
生が努力の後に結果を
残していることが近
に夢を現実へと近づ
けてくれたのだと思
います。

私が教師をめざして
体育大学に進学した
きっかけはインターハイ出
場という実績ができた
こと、それと併せて、
在学中の教育実習生の
先輩方の影響も大き
なと思います。3年間
で保健体育科に5名の
実習生がうちバスケッ
ト部の先輩が3名。授
業はもちろん放課後の
部活動の指導でも世話
になりました。実習が
終わってから公式戦
のベンチに入っていた
いただいた先輩もいま
もとも運動が好きで
指導することに興味
がある私は、その先輩
輩連に大学についての
色々な質問をする中
で、それが関心を高め
られ、それが教師への
考えるきっかけとな
りました。

それぞれ個性の異なる方
々ばかりでしたが、その
なかで、日野正哉先
輩（現明石高校教頭）と
岩本（中筋浩文先輩、淡
路広域消防とは今でも
バスケットを通じてお
付き合いさせていただ
いています。また、今
年の10月に開催される
「のじろ兵庫国体」で
日野先生と私はバスケッ
トとして競技のレリー
ブにコートに立つこ
とになっています。

中学の時「楽しそう
だから思えばとも子

供っぱい理由で友達と一緒にバスケット部に入学したことからすべてが始まりました。高校でもバスケットを続け、指導者とチームメイトに恵まれたなかで、のインターハイ出場がめざす教師への道をなげすくこともありませんでした。

今、振り返ってみて本当にいろいろな「出会い」のなかでたくさん学んだ人を支えながら、自分が人生の選択をしてきたのだと再確認して感動しています。高校時代にお世話になった

津金高校 保育

なんとといっても、卒業して36年がたった今も鮮明に浮かんでくるのは、濃とした津金高校の校章です。本堂に、勉強に、クラブ活動に、と、たくさん学びがありました。あつという道路の3年間でした。当時の先生を慕る慕る訪ねて、求人情報から自分に合った企業を選び、就職を伺ったこと

高野 寿美
(高校二十六回生)

ろ、全く予想もしてい
なかつたところを先生
が勧めてくださいまし

でも心強く嬉しいことでもあります。今思えば、先輩高校生の驚いへの質問から後輩へと受け継がれていったんだと思われています。そして、就職が決まり、4年近く勤めたいという保守士になりたいと思っています」ともあり、動ぬいたところ通信教育で取得した保育士資格を生かして保守士へ就職。そのまま33目を迎えています。

幸いなことに偶然にも、同じ市の幼稚園に津名高の先輩がいる。保育所と幼稚園の違いはありますが、折に触れ親身してくださってとても心強く感じています。

吉岡真弓
(高校二十六回生)

同窓生の皆さん、お久しぶりです。お元氣ですか？各方面で活躍していますか？と思ひます。高校を卒業して32年ののちに立たれると、「起立」、「礼」と誰ともしに言ひ返り、18歳のあの頃に逆戻りしました。しばらくも押し込みました。そして、新校舎にも行きました。ま

保守士という職業は、なんと素晴らしいものかと思ひます。散歩の道すがら木漏れ日の中、乳母車でのつまにかすやと眠てしまつた可愛い寝顔が見られ、第一歩を踏み出した、はじめて歩いた瞬間、また、友達と喧嘩をしてくやしくて、今にも我れ出しそうなのに我れ出しそうなのを保護者の方に代つて見させてもらうことは、保守士になったよかったと、感謝してやまません。

しかし、最近の子どもを取り巻く社会の状況は、めまぐるしく変化して、まったく思ひつかへることが多くなつてゐます。子どもも家庭、地域、社会環境等が子どもらしいかどうか、問われています。

だ、工事中ではあったけれども、入校した瞬間から、ホテルのようにな立派な学校舎でした。でも、いっしょに育つ仲間がいて、先生もやさしく接してくれて、心はホッとしました。

「『三五年おつけたい会』」

去年はお正月に行きました。夏バオーションで、神戸でビギナーデをしながら、当日は、「第35回みなとのおこべ海上花火大会」のおかげで田舎からお出された方も運くまで楽しむ事ができました。卒業以来の方もいました。全来の方もありました。特別な乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も大切な時期です。

その大切な時期のある子ども達の生活のことである保育所では、心・身体・知能の成長、発達を促すことが最優先の責務といわれています。

だからこそ、子どもの笑顔がたくさん見られるように、限りなく可能性を持った子ども達一人ひとりを大切にして保育を進めたいと思います。

また、保護者の方々とも協働しながら、子ども達の成長を確かに喜び合ひ、子育てすることを楽しみ、そして、大切に育てていきたいと思っています。

現在少しは、保育園から少し離れて、現場所の運営・管理等に携わっています。

「また、この上にある海がないというので、後日大阪に出張の時に連絡を頂きました。本当に不思議ですね。何年もお会いしていないのに、昨日まで会っていたようにしゃべれます。そうわっています。また、市民から寄せられる相談・苦情の解決への対応等の業務を行っています。『喜んでもらえる、選んでももらえる保育所』を目指して、努めよう」と思います。

「そんな時、ふと口ずさむのは、『母なる海』のがよいというので、私のがその一つです。私の人生の応援役でもあり、そして、思い浮かせるのは、遠いふるさとあの架け橋橋生さんのあの架け橋橋生さんの3年間で培われた津南高校での学びは、貴重なものです。」

「津南高校に学んで良かった。幸せだな。」
「と思った、母なる海と架け橋をこれから心ん支えにして、また、勇気をもらっている日々

編集後記

同窓会員の皆様とは、お変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。平素は本会の運営に温かいご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、本支部報も版数として、本年度の総会（平成28年）から毎年発行し、今回第11号として、お届けすることができました。これ偏に皆様方のご支援の賜物と感謝いたしておきます。

ところで、本文でもご案内いたしておりますが、本年度の総会では昨年新築移転した母校新校舎の見学会を兼ねて、新校舎に隣接する『津名ハイム』に於いて8月27日（月）開催いたしました。会員の皆様方が久方ぶりの再会を喜び合い、相互のご交流及び会員と母校の助けになりました。

幸いに存じます。皆様どうぞお話し合ってください。ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございます。

さて、本支部報も版数として、本年度の総会（平成28年）から毎年発行し、今回第11号として、お届けすることができました。これ偏に皆様方のご支援の賜物と感謝いたしておきます。

ところで、本文でもご案内いたしておりますが、本年度の総会では昨年新築移転した母校新校舎の見学会を兼ねて、新校舎に隣接する『津名ハイム』に於いて8月27日（月）開催いたしました。会員の皆様方が久方ぶりの再会を喜び合い、相互のご交流及び会員と母校の助けになりました。

幸いに存じます。皆様どうぞお話し合ってください。ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございます。

最後にになりましたが、本支部報の発行にあたり、ご寄稿いただきに賛助広告にご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

①支部運営並びに支部報発行に要する財源、会費、寄付、賛助広告等々に、一層のご支援をから切にお願い申し上げます。

②来年発行予定(第12号)の原稿を待ちっていますので奮ってご寄稿をお願いします。

又、学会同窓会、行事報告、行事予定等の連絡に、ぜひ本紙をご活用ください。

編集委員 (岩井 記)

宮岡 都雄 (7)	岩井 吉人 (12)
薄木 昌信 (7)	小久保澄夫 (13)
筆谷 幸子 (7)	田中 種義 (13)
南光 三雄 (7)	南 正光 (14)
矢野 端 (7)	北川 映子 (15)
村上 昇 (10)	淑郎 (15)

(中野 孝)は卒業同生です。

員参加にはなかなかありませんが、頻繁にしていると毎回懐かしう人と会う事ができます。

の力は何なのでしょ
 か？いつも思います
 3年間机を並べて勉
 したからでしょか

最後になりましたが、本支部報の発行にあたり、ご寄稿並びに賛助広告にご協力いただきましたこと厚くお礼申し上げます。

追記

①支部運営並びに支部